

2025年12月2日

## タイのレジリエンス向上を AI 技術とデータ解析技術で支援 タイ気候変動環境局と MOU を締結、安全で持続可能な社会の実現に貢献 洪水・干ばつ・熱波の緩和・適応策策定を推進

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:石橋 知博)は、タイ気候変動環境局(DCCE:Department of Climate Change and Environment)と、気候災害リスク評価における協力のためのMOUを締結しました。

地球温暖化の進行に伴い、気象災害の頻度と激しさが増しています。特に、タイが直面する河川流域における洪水リスク、深刻な干ばつによる農業への影響、そして近年増加する都市部での熱波(それに伴う熱中症)被害は、国の持続可能な成長にとって避けて通れない課題です。

このMOUは、技術協力にとどまらず、タイ国民の「生命と生活の安全」を守り、気候変動の影響を乗り越えるための戦略的かつ未来志向のパートナーシップを象徴するものです。



タイ気候変動環境局 Deputy Director General Mr. Pavich KESAWAWONG (右)  
株式会社ウェザーニューズ 執行役員 鈴木孝宗 (左)

### ◆締結日

2025年12月2日

### ◆具体的な協力内容

- 1 地域特異的なリスク評価の強化
- 2 気候変動分野におけるキャパシティビルディング
- 3 歴史的データの活用と気象・気候予測モデルの精度向上

## ◆当社の役割と今後の取り組み

当社は、長年培ってきたグローバルなデータ収集・解析技術と最先端のAI技術を融合させ、地域に特化した洪水・干ばつ・熱波に関する情報や、海面水温・海面上昇といった物理的リスクの評価モデルを提供します。これにより、タイ国内の地域ごとの気候災害リスクと脆弱性を詳細に特定し、DCCEの適応策策定を支援します。

また、当社のAIを活用した気象解析技術やリスク評価に関する知識・経験を、DCCE職員へ共有し、能力開発を促進することで、タイ独自の強靭な気候変動レジリエンス構築に貢献します。

## ◇世界の気象機関との取り組みについて

当社は、インドネシア気象気候地球物理庁(BMKG)<sup>※1</sup>・ベトナム気象水文局(VNMHA)<sup>※2</sup>・フィリピン気象局(PAGASA)<sup>※3</sup>とMOUを締結しており、今後もアジア太平洋地域における防災・減災についての取り組みを推進してまいります。

※1 <https://jp.weathernews.com/news/41263/>

※2 <https://jp.weathernews.com/news/53113/>

※3 <https://jp.weathernews.com/news/53886/>